江南市長　堀　元　様　　　　　　　　　　　２０１１年7月２８日

福島原発事故への対応について

日本共産党江南市議員団
森　ケイ子
東　よしき
掛布まち子

３月１１日に発生した東京電力・福島原発事故は、４か月を経た今も収束の見通しも立たず、放射能による被害は、牛肉汚染にみられるように日本中に拡大するなど国民の食糧や健康への不安が広がっています。

日本共産党議員団にも市民から、大気中の放射能汚染や学校給食への不安などの意見や要望が寄せられています。

そこで福島原発事故による市民の不安にこたえ、江南市として取り得る最善の策を講じられるよう要望するものです。

また日本共産党として「原発からの速やかな撤退と自然エネルギーの本格的導入」を目指し、国民的討論を呼びかけました。

江南市としても市民の健康と安全を守るため、当面の対策とともに、脱原発に向けての行動をとられるよう要望するものです。

［　要望事項　］

1. 福島原発事故の深刻さを教訓に、行政としても「脱原発・自然エネルギーへの転換」の立場を明確にし、浜岡原発の永久停止・廃炉を求めること。
2. 市民の食生活や健康、くらしの安全を守るために「国の指示待ち」ではなく積極的な対応をすること。
3. 特に子どもたちが多くの時間を過ごす学校や保育園、公園などの大気中や土壌の放射能濃度を独自に測定し、公表するとともに、データーとして保存すること。
4. 学校給食の食材の事前のチェックなど、安全対策を確保すること。
5. 愛知県に対し、各自治体ごとにモニタリングポストを増やすよう強く要望すること。当面、県が新たに数か所増設するとしているモニタリングポストを江南市に設置するよう働きかけること。
6. 震災被災地の瓦礫の受け入れについて、江南丹羽環境美化センターでは、焼却炉が流動床炉であることや、大規模改修中などを理由に受け入れできないとの回答をしたとのことですが、放射能汚染やアスベストによる被害も予想されることから、より慎重を期すること。